

月刊 利根日石新聞

第000145号

2009年11月1日発行 令和3年10月号

発行 利根日石株式会社 TEL 0278-24-1635 FAX 0278-24-7880

10月



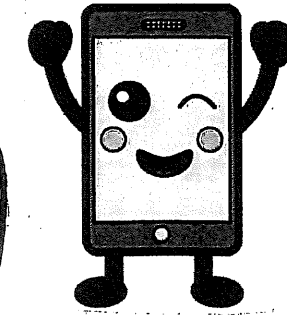
先日テレビで日本一高い山 富士山 (3,776m) を登山する人たちが紹介していました。登山道には杭が打たれそこにはロープもつながれていて、下に石が落ちていれどがしなからきれいにしてくるアウトリルの人かいてその人は

山小屋もあってポストもあり昨年までは外国人がたくさん来たのがわが村。9歳のおじいちゃん 娘さん 孫娘さんと頂上目指し登山をしている姿は疲いを感じない足取りで娘さん 孫娘さんの方が大変と羨みながら歩いていました。沢に沖繩在住のアメリカ人親子4人お医者さんのお父さんと子供2人途中でお父さんは足を痛め、子供2人も歩くの嫌だとかうて泣いてしまいお母さんだけ頂上目指し歩きました。それまで2人の子供を交互におんぶをして登って来たのです。やはりどの国でも母は強いです。お父さんと2人の子供は下山しました。富士山、山頂には断崖、絶壁の所に富士山特別地域気象観測所があり南極で使用されている建物と同じで-30度でも耐えられるそうです。裏山下の方に溜まり下から上へピカピカと光る所を映していました。



ある本を読んで『紛失から気づき』 スマホは電話やメールをはじめ写真撮影や動画、音楽鑑賞、各種支払いなどに用いる事ができる便利なモバイル端末です。現代人にとって必需品といえるスマホ。下は出張中になくしてしまいました。夜外出先からホテルに戻り初めて紛失に気づいたのです。ホテルの電話で家族連絡を取りたいと、電話番号がわからずインターネットは使えず明日の手配を確認できなくなってしまいました。ところが、翌朝にもレストランで夕食を共にした取引先の担当者が下はの志願物に気づきホテルまで届けてくれました。途方に暮れていた下はは救われ、便利な機器に頼り過ぎていたことを深く考えさせられました。それからは二度と困らぬよう重要な電話番号は手帳に控え、日々の手入れや収納場所にも気を配る必要、危機管理を徹底するようになりました。

便利な道具を大いに活用しつつも二段構えが不慮の事態に備えたいものです。 (便利すぎるスマホ、電話番号もちゃんとメモすべし。スマホへ、先日子供に連絡しようと思ったスマホが見つからず、電話番号も覚えていない。"どうしよう、とばかり。その時に心にも書いておいた事に気づきました。自分の記憶(ほりばいいうら)手帳を買って書き込ませよう。ちや)



ミニストップ北小前店 特殊詐欺を未然に防ぐ!

9月中旬のある日、70歳前後の男性がミニストップ北小前店にいらっしゃいました。お店に入ると、カウンターに居たスタッフの金子エミに尋ねました。

「ウェブモネ、ありますか?」

「えっ!? ウェブモネ? ですか?・・・」

はて? ウェブモネって、いったい何だろ? レモネードか何かの新商品? いや、そんなの出ないし、NHKの朝ドラ「おかえりモネ」?・・・とは奥係ないし・・・と思案した挙句、ピン!と閃きました。ウェブマネー! かしら? 陳列棚にご案内して「こちらでしょうか?」と尋ねると、男性はパッケージを眺めながら尋ねました。

「こはは幾らですか?」 「こちらにあるのは、2,000円のもの、5,000円のものになります」 「そうですか...、30,000円分欲しいので、そうすると、こはを6枚買えばいいって事ですか?」

おかしい...。高齢の男性が、今まで見たこともないウェブマネーを30,000円分も買うなんて...と不振に思った金子エミは、「そうだと思うんですけど、確認してきますので、ちょっとこちらでお待ちください」と言い残し、キッチンに居たストアリーダーの清水さんのところに駆けつけます。事の経緯を説明すると、清水さんは、「でもね、ニュースとか見ると、特殊詐欺って、と高額な請求しない? お孫さんにせがまされたのかも知れないよ」

確かに、微妙な金額だと思った金子エミは再び男性のもとへ。すると、男性は商品を手に取りながら、携帯で誰かと話しています。その様子は、やや緊張した面持ちで敬語で話していて、明らかに家族ではないと判断した金子エミは、カウンターで見た清水さんにアイコンタクトを送り、110番してもらいました。男性には、「こちらの商品は購入してしまうと、返品が出来ません。今回は高額のお買い物となりますので、こちらもセンターに確認しなければなりません。こちらでもう少しだけお待ちください。」と、イトインコーナーに案内し、お待ち頂きました。

程なく、警察の方が見えて、詳しく事情をお聞きしたところ、やはり特殊詐欺だったことが判明。男性はインターネットを使っていたところ、突然エラーメッセージらしき表示が出てきて、修理する為にはコンビニで30,000円分のウェブマネーが必要と言われたそうです。無論、エラーメッセージそのものが偽物で、30,000円をだましとろうとしたものです。金額が比較的安価な為、男性も詐欺とは気付かなかったとの事。金額の高い、安いに南めらす犯罪であることに変更ありませんし、高額でない為目立たず、被害に遭っても気付かない例もあるかも知れません。一日でも早く犯人が捕まることを望むと共に、ピン!ときた勘を頼りに気転を効かせて未然に防いだ金子エミと清水エミに敬意を表します。

話を聞かされた時の金子エミの最後の言葉が印象的でした。 「そんな、大げさに書かないでください。私は大したことはしてませんし、とにかく普段ご利用頂いているお客様が被害に遭わずに済んだというだけで、ほんとに満足なんです。」 いつも皆さんに安心してご利用頂けるよう、スタッフ一同、こはから出来る事に精一杯と取り組んで参ります。引き続き、どうぞミニストップを宜しくお願いします。